

情報科教育法 a No.2

2019/4/17 & 4/19

[1] 授業内容

- 現行の学習指導要領についての発表

[2] 教科「情報」の流れについて

- 1999年3月 教科「情報」が必修。「情報A」「情報B」「情報C」
 - 情報A：義務教育段階において情報手段の活用経験が浅い生徒でも充分履修できる
 - 情報B：コンピュータに興味・関心を持つ生徒が履修する
 - 情報C：情報社会やコミュニケーションに興味・関心を持つ生徒が履修する
 - 2009年3月 科目変更。「社会と情報」「情報の科学」
 - 社会と情報：情報科の進む社会に積極的に参画することができる能力・態度を育てる
 - 情報の科学：社会の情報科の進展に主体的に寄与することができる能力・態度を育てる
- ※どちらも選択できるようにすることが望ましいが、ほとんどの学校では「社会と情報」を扱う
- 2018年3月 科目変更。「情報Ⅰ」必修、「情報Ⅱ」選択
 - 情報Ⅰ：問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に活用する力をすべての生徒に育む
 - 情報Ⅱ：「情報Ⅰ」の基礎の上に、情報システムや多様なデータを適切かつ効果的に活用する力や、コンテンツを創造する力を育む

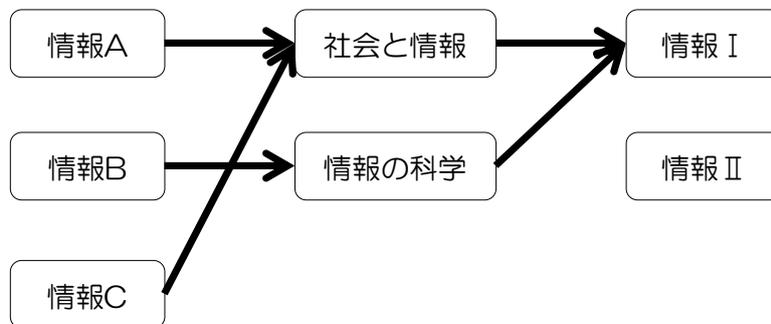


図 情報教育の流れ

[3] 専門教科「情報」の流れ

- 1999年3月 11科目
情報産業と社会，情報と表現，アルゴリズム，ネットワークシステム，情報システムの開発，コンピュータデザイン，図形と画像の処理，マルチメディア表現，課題研究，モデル化とシミュレーション
- 2009年3月 13科目
情報産業と社会，情報の表現と管理，情報と問題解決，情報テクノロジー，アルゴリズムとプログラム，ネットワークシステム，データベース，情報システム実習，情報メディア，情報デザイン，表現メディアの編集と表現，情報コンテンツ実習，課題研究

・2018年3月 12科目

情報産業と社会、情報の表現と管理、情報テクノロジー、情報セキュリティ、情報システムのプログラミング、ネットワークシステム、データベース、情報デザイン、コンテンツの創作と発信、メディアとサービス、情報実習、課題研究

| | 1999年 | 2009年 | 2018年 |
|----------|-------------------------------------|--|---|
| 基礎的科目 | 情報産業と社会 情報と表現 | 情報産業と社会 情報の表現と管理 情報と問題解決 情報テクノロジー | 情報産業と社会 情報の表現と管理 情報セキュリティ 情報テクノロジー |
| 情報システム分野 | アルゴリズム ネットワークシステム 情報システムの開発 | アルゴリズムとプログラム ネットワークシステム データベース 情報システム実習 | 情報システムのプログラミング ネットワークシステム データベース |
| コンテンツ分野 | コンピュータデザイン 図形と画像の処理 マルチメディア表現 | 情報メディア 情報デザイン 情報コンテンツ実習 表現メディアの編集と表現 | 情報デザイン コンテンツの制作と発信 メディアとサービス |
| 総合的科目 | モデル化とシミュレーション 情報実習 課題研究 | 課題研究 | 課題研究 情報実習（情報システム分野＋コンテンツ分野） |

[4] 演習

- ・専門教科「情報」の現行学習指導要領を読み、その内容をまとめる。

[5] 課題

- 1) 現行の教科「情報」についてほとんどの学校が「情報と社会」を選択している理由について自分なりに考察せよ。
- 2) 前回の課題を以下のサイトから採点せよ

<https://forms.gle/ZAsmcNPyY4PbUziM9>

提出：sho-ooi@fc.ritsumei.ac.jp

メールの件名「O2 情報科教育法 a_学番-名前」

締め切り：授業の前々日まで（工学部：4/22、情報科学部：4/23）